

# 共同利用施設 案内

主任：榎原 智美

室名：生体構造解析室

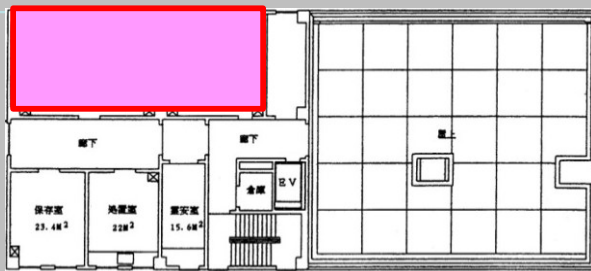
解剖学ユニット(内線:272)

場所：

5号館4階

内線：260

施設利用手引き



概要：パラフィンや樹脂包埋された組織から光学顕微鏡で観察する薄切標本の作製、染色及び封入が行え、また、組織を樹脂に包埋し、超薄切後、染色して透過型電子顕微鏡のための標本作製が行えます。

## 共同利用機器備品リスト：

1. Ultra Cut (Leica, S、E)
  2. ビブラトーム (D.S.K.)
  3. 回転式ミクロトーム (Yamato, RV-240)
  4. 滑走式ミクロトーム (Yamato)
  5. クライオスタット (Leica, 3050S)
- 付属機器として蒸留装置 (Yamato, WA200)、Deep freezer、恒温真空装置 (Tabai, LHV-112)、恒温槽などがあります。

## 機器用途



1 透過型電子顕微鏡の超薄切標本の作製



2 未固定組織からの薄切標本作製



3 包埋組織からの連続薄切標本作製



4 包埋組織からの薄切標本作製



5 組織の凍結薄切標本の作製

# 共同利用施設 案内

主任: 榎原 智美

解剖学ユニット(内線:272)

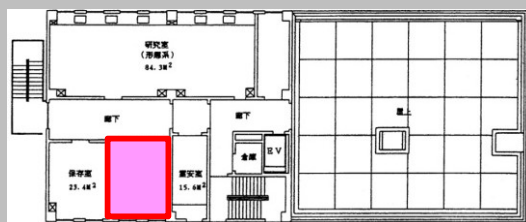
室名: 生体構造解析室

場所:

5号館4階

内線: 280

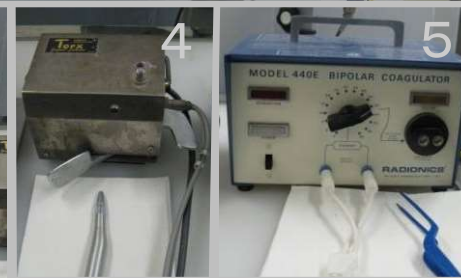
施設利用手引き



概要: 小型～中型実験動物の手術、固定、解剖を行うための動物実験室です。生きた実験動物を扱うためには、本学の動物実験計画書が必要です。

共同利用機器備品リスト:

1. 手術用顕微鏡 (KONAN)
2. 手術用クリプトン无影灯
3. 脳定位装置 (David Koff)
4. トルクス (モリタ, TR-2)
5. リージョンジェネレーター (RADIONICS, RFG-4A)
6. バイポーラコアキュレーター (RADIONICS, 440E)
7. 透析ポンプ (Nipro, NIP-BP)



## 機器用途

1. 手術時の手元を拡大します。フットスイッチでピント調整可。
2. 手術台の手元を無影で照明します。
3. ラットの頭部を定位で固定し、外科手術を行います。
4. 歯科用ドリル。頭蓋骨に窓を開けるとき等に使用します。
5. 一定電流により、脳や脊髄に傷害を作ります。
6. 電流により血管を熱変性させ止血します。
7. 実験動物の灌流固定時に使用します。



実験室の概要(冷蔵庫有)  
(左上の地図とは天地逆です。)

# 共同利用施設 案内

主任: 榎原 智美

解剖学ユニット(内線:272)

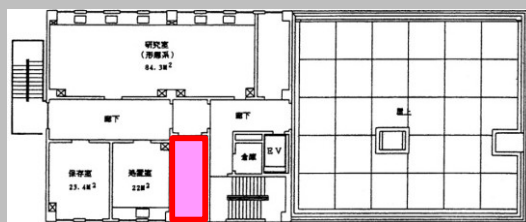
室名: 生体構造解析室

場所:

5号館4階

内線: 260(子機)

施設利用手引き



概要: 組織標本の実体顕微鏡、光学(一般・蛍光)顕微鏡による観察およびデジタルカメラ撮影と、取得したデータの簡単な画像処理ができます。

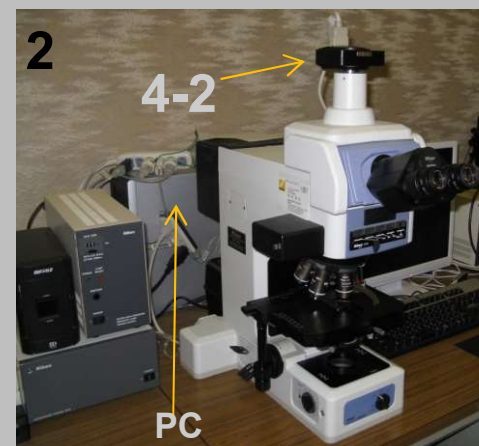
## 共同利用機器備品リスト:

1. 実体顕微鏡(Nikon, SMZ-100, 1式)
2. 光学顕微鏡(Nikon, E800, 1式)、  
蛍光セット附属
3. 光学顕微鏡(Nikon, E600, 1式)、  
蛍光セット附属
4. 上記1, 2に顕微鏡用デジタルカメラ(Nikon, DXm1200/ACT-1 または DS-SMc/ACT-2)を搭載。
5. 上記3に簡易デジタルカメラ装着

## 機器用途



1. 0.75~25倍ズーム観察可能な実体顕微鏡(手動)です。顕微鏡用デジタルカメラが装着されており、パソコンモニタ上で動画を観察しながら実体顕微鏡下の顕微解剖が可能です。



2. 一般染色または蛍光染色された光学顕微鏡標本を観察・写真撮影することができます。対物レンズは、x2~x100。観察できる蛍光色素は、代表的なものでは、DAPI, FITC, Texas Red です。



3. 上記2と同様。但し、一般用デジタルカメラのみ搭載しています。

なお、パソコンのOSは、Windows XP。それぞれ簡易の画像解析ツールを搭載している。